

「ニュースリリース」

東海道・山陽・鹿児島線における福山通運株式会社専用貨物列車
「福山レールエクスプレス号」の運転開始について

平成29年5月8日

福山通運株式会社

日本貨物鉄道株式会社

この度、福山通運株式会社（代表取締役社長：小丸 成洋、以下福山通運）と、日本貨物鉄道株式会社（代表取締役社長：田村 修二、以下日本貨物鉄道）は、産業全体における労働力不足と労務問題に対応するため、名古屋貨物ターミナル駅（愛知県名古屋市）と福岡貨物ターミナル駅（福岡県福岡市）並びに北九州貨物ターミナル駅（福岡県北九州市）間で、3往復目となる長距離直行専用貨物列車、「福山レールエクスプレス号」を、平成29年5月8日から運行することとなりましたのでお知らせいたします。

福山通運は、平成25年3月25日から東京・大阪間、平成27年3月30日からは東京・福山間の幹線輸送について、毎日各1往復の専用貨物列車「福山レールエクスプレス号」をチャーターし、大型トラック160台分を貨物鉄道へモーダルシフトしてまいりました。

今回の3往復目の専用貨物列車の運行により、更に大型トラック60台分を貨物鉄道へモーダルシフトいたします。

これら3往復の専用列車の運行による、CO₂排出量の削減量は69,890トン／年間となります。

福山通運と日本貨物鉄道は、これからも、これまでの経験と実績を活かして、物流業界における労働力不足と労務問題へ確実に対応し、CO₂排出量削減による地球環境負荷の低減を図るために先進的なモーダルシフトの実現に取り組んでまいります。

記

1. 運転開始日 平成29年5月8日（月曜日）から
2. 発着駅 名古屋貨物ターミナル駅（名古屋）⇄北九州貨物ターミナル駅（北九州）・福岡貨物ターミナル駅（福岡）
3. 発着時刻 【下り】名古屋タ 23:28 発 ⇒ 北九州タ 10:41 着 ⇒ 福岡タ 12:47 着
【上り】福岡タ 22:51 発 ⇒ 北九州タ 0:46 発 ⇒ 名古屋タ 12:40 着
4. 列車編成 15両編成
(名古屋タ～北九州タ駅：4両、名古屋タ～福岡タ駅：11両)
5. 輸送量 31ftコンテナ30個／1列車あたり（往復60個）
6. 目的
 - ・近年の就業環境の変化によるトラックドライバー不足への対応
 - ・労働時間等の労務問題への対応
 - ・夜間の長距離運転の緩和
 - ・鉄道へのモーダルシフトによる地球温暖化防止に向けたCO₂排出量削減への取り組み

以上

【参考資料】

(1) 運行ルート



(2) 福山レールエクスプレス号 概要

1. 発着駅 名古屋貨物ターミナル駅(名古屋)
⇔北九州貨物ターミナル駅(北九州)・福岡貨物ターミナル駅(福岡)
2. 発着時刻 【下り】名古屋タ 23:28 発 ⇒ 北九州タ 10:41 着 ⇒ 福岡タ 12:47 着
【上り】福岡タ 22:51 発 ⇒ 北九州タ 0:46 発 ⇒ 名古屋タ 12:40 着
3. 列車編成 15両編成(名古屋タ～北九州タ：4両、名古屋タ～福岡タ：11両)
4. 輸送量 1列車あたり 31ftコンテナ×30個(トラック30台分)



※福山レールエクスプレス号(東京タ～吹田タ間、東京タ～東福山間運行)